

【管理者用 支援者支援の手引き】

I. はじめに

災害の対応お疲れ様です。管理者である皆様もご自身で思っている以上にお疲れです。皆様は、被災地復興支援のキーパーソンであり、一人でもお倒れになるとその影響は大きく、復興遅延の原因にもなってしまいます。さらに、職員の方々もまた同じ状況に置かれていることにお気づき下さい。被災地で支援活動される方々の支援は、ひいては被災地全体への支援につながります。

II. 支援者支援について

支援者支援とは支援者自身の苦しみを和らげるとともに、自身にその行為の意味を問い、対人援助の専門性を習得し、支援者としての資質の向上を図ることです。

1. 対象は災害時に被災者を支援するすべての人々（図1の塗りつぶし部分）

被災地域の行政（県庁、市区町村）、保健所、医療機関、教育・福祉機関、
消防・警察・自衛隊など

2. 災害時支援者支援のポイントは、“CARE”

C: Collect Communication	正確な情報収集 俯瞰する
A: Ask	適切な援助希求
R: Rest	適切な休息
E: Eureka	気づき、早期の問題認識

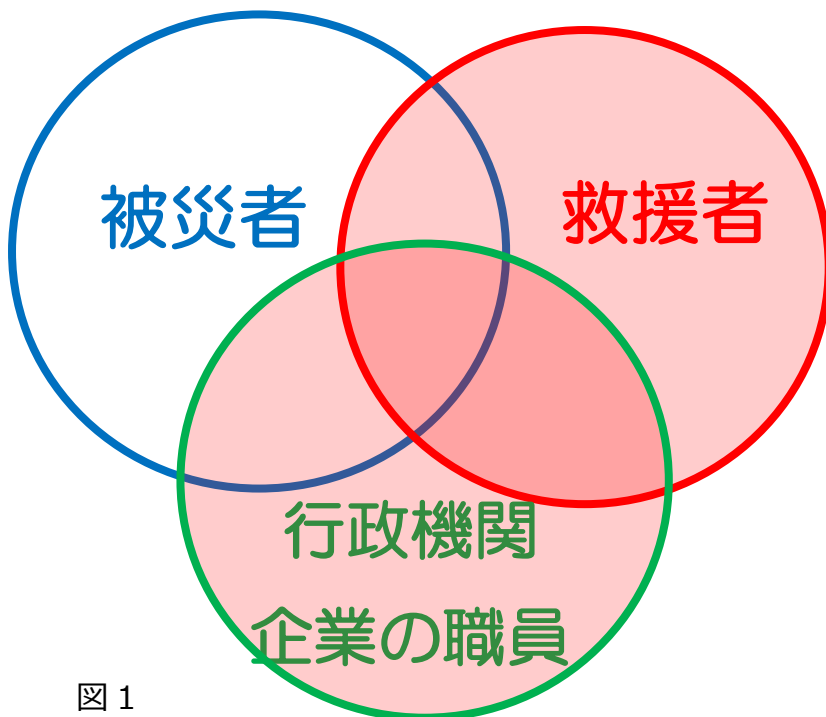


図1

Ⅲ. 管理者の役割 Switch を入れて“L L L”

・Switch

支援者支援のスイッチを入れるのは管理者の役割です。

・Look、Listen

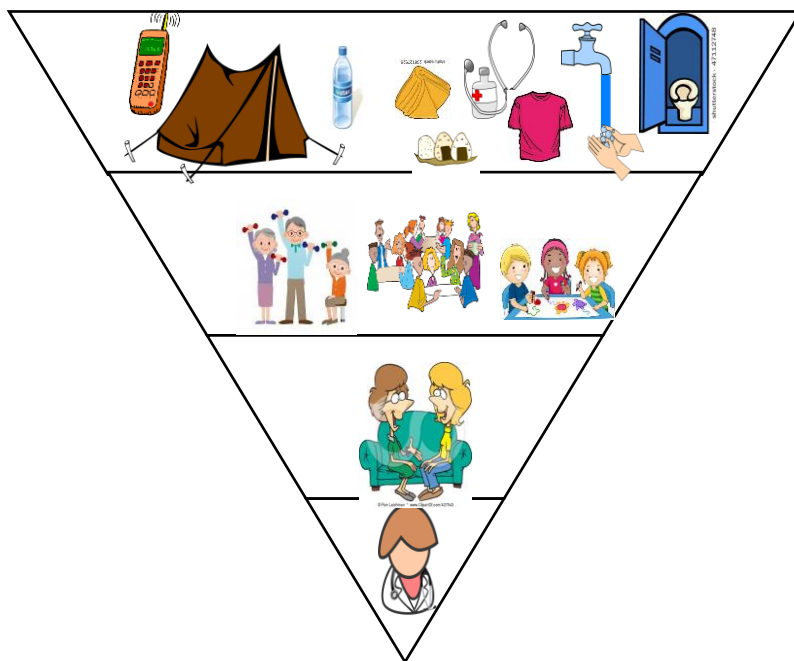
被災地で支援活動を行う自組織の職員や外部からの支援者を知り、観察します。

・Link

支援ニーズがあった場合は、以下の社会資源(図 2)につなげます。

中長期的には地元にある社会資源に引継いでいくよう検討します。

多くの方々との連携が必要です。(図 3)



心理社会的支援における資源の階層

←基本的ニーズ（衣食住等）への対応

←家族、コミュニティーへの支援

←よりケアを必要とする人への個別の対応

←精神医療の専門家による介入

図 2 つなぎマップ（IASC2007 ガイドライン改変）

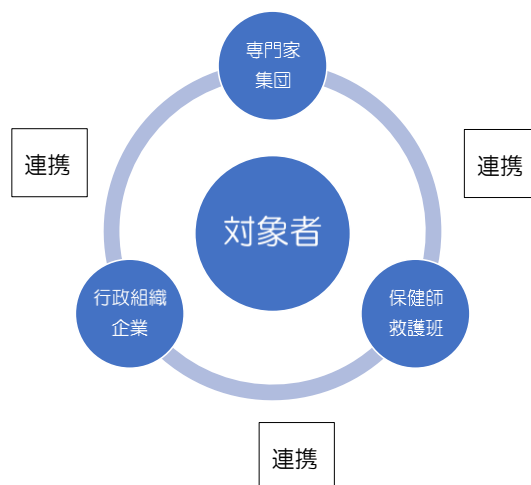


図 3